食文化人類学特論（選択・講義１単位）[教職（栄養教諭）選択必修]　　守　屋　亜記子

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：人間にとって「食」とは何かについて、文化人類学的視点から学ぶことをテーマとする。具体例を通して、食の背後にある社会・文化的背景、食に投影されるさまざまな価値観を理解できるようになることが目標である。

授業の概要：　日本の食文化の歴史的変遷について学び、それを東アジア食文化圏という枠組みの中で捉える。また、食生活の記録や民族誌などを通して、食に映し出される文化の諸様相について考える。

【授業計画】

① 食と文化
② 生業と食文化
③ 日本の食文化形成と展開１（古代～近世）
④ 日本の食文化形成と展開２（近代～現代）
⑤ コメの文化
⑥ 東アジアの食文化
⑦ 食をめぐる現代的課題
⑧ まとめ

【授業外学習】

指定参考書を一読しておくことが望ましい。また各自の関心に応じて、食関連の博物館や展覧会などを見学しておく。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度（20%）および提出レポート（80%）により評価を行う。

【教科書】

特になし

【参考書】

『日本の食文化―その伝承と食の教育―』(江原絢子編、アイ・ケイ・コーポレーション)

【教材】

授業の際にプリント等配布する。

【備考】

特になし